

削除予定項目の類似調査一覧（中高年者縦断調査）

R4 第18回	項目	類似調査名	所管	問番号	質問の項目名	主な結果
【家族】						
問2	配偶者の学歴	令和3年 出生動向基本調査(社会保障・人口問題基本調査)	社人研	問5(1)	在学・卒業の別 最後に卒業した学校	R3: 夫 大学38.7%、共学高校26.2% 妻 共学大学21.3%、共学高校21.5%
補問3-1	収入の有無	令和4年 高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査	内閣府	F7	収入の有無(収入額)	R4、60歳以上: 同居家族の一ヶ月の平均収入額20~25万円未満15.1% が最も高い
補問3-1	介護の必要の有無	令和4年 国民生活基礎調査(介護票)	厚労省	質問2	介護が必要な方 (性と年齢)	R4: 世帯構成別にみた「要介護者等のいる世帯」の構成割合 核家族世帯42.1%、三世帯世帯10.9%
問4	同居なし父母、続柄	2019年 世帯動態調査(社会保障・人口問題基本調査)	社人研	問15	現在同居していない方	2019(8回)、65歳以上: 親生存(9.0%)のうち別居76.6%、 両親とも死亡91.0%
	年齢(父母)	-	-	-	-	-
	介護の必要の有無(父母)	令和4年 就業構造基本調査	総務省	F2	家族の介護の有無	R4: 60~64歳 介護をしている11.6%、介護をしていない86.0% 65~69歳 介護をしている 8.1%、介護をしていない88.7% 70~74歳 介護をしている 4.7%、介護をしていない90.4% 75歳以上 介護をしている 4.2%、介護をしていない88.8%
問6	同居なし親族への経済的な支援	令和4年 国民生活基礎調査(所得票)	厚労省	質問8	仕送りの有無	R4: (世帯数1万対) 総数3,439、子への仕送りあり 54、子への仕送りなし 1,832
	月平均支援額	令和4年 国民生活基礎調査(所得票)	厚労省	質問8	仕送りした金額	R4: 昨年1年間の平均仕送り支給額(万円) 総数8、親への仕送りのみの世帯5.6、子への仕送りのみの世帯9.2、親、子両方への仕送りのある世帯13.4
	年間合計支援額	-	-	-	-	-
【健康】						

削除予定項目の類似調査一覧（中高年者縦断調査）

R4 第18回	項目	類似調査名	所管	問番号	質問の項目名	主な結果
	【就 業】					
問19-4	勤め先の従業者数	令和4年 就業構造基本調査	総務省	A4	勤め先・業主などの従業者規模	R4: 従業者規模は、従業員2～4人の割合が最も高い(70～74歳21.5%、75～79歳27.6%、80～84歳36.4%、85歳以上40.7%)
		令和4年 労働力調査	総務省	⑫	従業者数規模別雇用者数	R4: 70歳以上: 従業員数規模別雇用者数 1～29人160万人、30～99人56万人、100～499人47万人、500～999人13万人、1000人以上28万人
問19-5	仕事について感じていること(満足度)	令和元年 就業形態の多様化に関する総合実態調査(個人票)	厚労省	問10	現在の満足度	R1: 「仕事の内容・やりがい」項目が「満足」又は「やや満足」 正職員68.7%、正社員以外65.9%
問20-1	勤め先の定年の有無	令和4年 就労条件総合調査	厚労省	IV	定年制等	R4: 一律定年制を定めている企業(96.9%)のうち 60歳定年制72.3%、65歳定年制21.1%
	定年年齢	令和4年 高年齢者雇用状況等報告	厚労省	8	定年年齢	R4: 65歳定年企業22.2%、 中小企業 22.8%、大企業 15.3%
問20-3	勤め先の再雇用制度等の利用の有無	令和4年 高年齢者雇用状況等報告	厚労省	10	継続雇用制度	R4: 継続雇用制度の導入 全企業において70.6% (70歳までの就業確保措置を実施済み企業 21.8%)
		平成20年 高年齢者雇用実態調査	厚労省	問5	継続雇用制度(勤務延長制度及び再雇用制度)の有無	H20: 一律に定年制を定めている事業所で定年年齢が60～64歳の事業所では、継続雇用制度(勤務延長制度及び再雇用制度)がある事業所割合は89.1%
問21	後継者の有無	令和4年 個人企業経済調査	総務省	4	後継者の有無	R4: 後継者がいる企業割合 19.7%
	今後の事業方針	令和2年度 農業経営の継承に関する意識・意向調査	農水省	問4	後継者は決まっているか	R2: 農業の後継者が決まっている 40.1% 農業の後継者は決まっていない 9.9%
		令和4年 中小企業実態基本調査(個人事業者用)	経産省	問18 付問3	事業承継の意向について	R4: 考えている42.3%、事業承継するつもりはない11.5%、考えていない44.1%
補問22-1	したい仕事のかたち	令和4年 就業構造基本調査	総務省	B4	どのようなかたちで仕事がしたいか	R4: 希望する仕事の形態は、パート・アルバイトの割合が最も高い (70～74歳62.9%、75～79歳51.1%、80～84歳33.0%、85歳以上22.4%)
補問22-2	仕事探し、開業準備	令和4年 就業構造基本調査	総務省	B5	仕事探し、開業の準備	R4: 無業者の就業希望者数 70～74歳 約658千人、75～79歳 約377千人、 80～84歳 約223千人、85歳以上 約106千人
補問22-3	仕事探し、開業準備をしない理由	-	-	-	-	-
問23	その仕事をやめた年月、離職2回目以降	-	-	-	-	-

削除予定項目の類似調査一覧（中高年者縦断調査）

R4 第18回	項目	類似調査名	所管	問番号	質問の項目名	主な結果
【これからの生活設計】						
問24	これからの生活のまかない方	平成30年 老後の生活設計と公的年金に関する世論調査	内閣府	回答票7	老後の生活設計	H30: 老後の生活設計の中の公的年金の位置づけ 公的年金を中心とし、これに個人年金や貯蓄などを組み合わせる 55.1%
問25	これからの就業希望	令和4年 就業構造基本調査	総務省	B1	収入になる仕事をしたいか	R4: 無業者のうち就業希望者は783万人、無業者に占める割合は18.3%
補問25-1	仕事をしたい理由	令和4年 就業構造基本調査	総務省	B2	就業希望理由	R4: 就業希望理由は、「健康を維持したい」の割合が最も高い 65～69歳23.1%、70～74歳27.8%、75～79歳32.9%
補問25-2	仕事をしたくない理由	令和4年 就業構造基本調査	総務省	B9	収入になる仕事をしたいと思わない理由	R4: 非就業希望理由別にみると、「高齢のため」が1837万人(非就業希望者に占める割合52.7%)
【社会活動等】						
問27	頼りにしている人の有無	平成26年 一人暮らし高齢者に関する意識調査	内閣府	Q5	頼りたいと思う相手	H26: 「電球の交換などの日常のちょっとした用事を頼みたい」等の日常での軽い作業に関する事象では「そのことでは頼りたいと思わない」が最も高いが、それ以外の「病気で何日か寝込んだ時に看病や世話を頼みたい相手」等の事象では「子(息子、娘)」の割合が最も高い
問28	活動の方法	令和3年 高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査	内閣府	問29	現在 参加している団体や組織	R3: 町内会・自治会21.8%、健康・スポーツのサークル・団体17.3%、参加しておらず、参加したいとも思わない25.5%
	満足度	令和3年 高齢者の日常生活・地域社会への参加に関する調査	内閣府	問23	社会 活動に参加して良かったと思うこと	R3: 生活に充実感ができた 47.9%
【住居・家計】						
問29-1	ローンの有無	令和元年 全国家計構造調査	総務省	(22)の(2)	住宅ローンの支払い	R1: 負債保有率(うち住宅・土地のための負債) 65歳以上 7.0%
補問31-1	収入の種類	平成12年 国勢調査	総務省	(平成12年)(2)	家計の収入の種類	H12: 65歳以上(全国) 賃金・給与が主 6.5%、恩給・年金が主 75.7%
		令和4年 年金制度基礎調査(老齢年金受給者実態調査)	厚労省	問4	収入項目別収入額	R4: ともに65歳以上である配偶者あり世帯 本人及び配偶者の収入項目別収入総額に占める割合 働いて得た収入17.0%、公的年金・恩給76.6%、企業年金・個人年金4.1%、その他の収入2.4%
		令和4年 就業構造基本調査	総務省	6	収入の種類	R4: 収入の種類 社会保障給付の割合が最も高い 65～69歳 53.5%、70～74歳 71.4%、75～79歳 80.0%
【配偶者】						
補問36-1	収入の種類	令和元年 高齢者の経済生活に関する調査	内閣府	Q7	収入の種類(夫婦合計)	R1: 60歳以上「公的年金、恩給」87.3%、「仕事による収入」41.0%、「企業年金、個人年金等」16.5%